

2025年度

業 務 概 要

国土交通省 近畿地方整備局

神戸港湾空港技術調査事務所

(URL : <https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobegicyo/>)

# 目次

## I. 事務所の概要

1. 概要	1
2. 担当区域	1
管内の主要港	2
3. 変遷	3

## II. 主要業務

1. 設計関連	
(1) 大阪湾岸道路西伸部における長大橋の技術検討	4
(2) 海岸保全施設の設計検討	5
(3) 港湾施設の設計検討	6
2. 船舶関連	
(1) 船舶の維持管理	7
3. 調査関連	
(1) 大阪湾再生プロジェクト	8
(2) 大阪湾再生のためのモニタリング	8
(3) 観測機器を使った海域モニタリング	9
① 大阪湾水質定点自動観測システム	9
② 大阪湾・紀伊水道海洋短波レーダ	9
③ 海象観測関連	9
(4) 技術開発に関わる検討	10
・3次元デジタル測量のデータ活用法に関する検討	10
4. その他	
(1) 技術支援	11
① 民間等新技術の活用推進	11
② 港湾における液状化相談窓口	11
(2) 情報発信	11
① ホームページによる情報提供	11
② 大阪湾環境データベースによる環境情報の提供	11

所在地・交通アクセス・お問い合わせ

# I. 事務所の概要

## 1. 概要

当事務所は、近畿地方整備局管内の港湾・空港・海岸・環境整備等の事業を技術的にサポートすることを通じ、暮らしを支える物流や大阪湾の環境、防災強化に貢献しています。また、関連する調査や技術開発等を積極的に推進し、総合的な技術・情報センターを目指しています。

## 2. 担当区域

当事務所の担当区域は、近畿2府4県（京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、滋賀県、奈良県）です。

太平洋・日本海・瀬戸内海の3海域に面している管内には、国際戦略港湾 2港、国際拠点港湾 3港、重要港湾 5港、地方港湾 52港（避難港 3港含む）、会社管理空港 2空港、地方管理空港 2空港、その他の空港 2空港が存在します。

（令和 7年 4月 1日現在）



# 管内の主要港



大阪港



神戸港



堺泉北港



姫路港



和歌山下津港



舞鶴港



阪南港



尼崎西宮芦屋港



日高港



柴山港

### 3. 変 遷

	(旧)神戸機械整備 事務所	(旧)神戸調査設計 事務所
大正 8年 4月 1日	内務省 神戸土木出張所 機械工場	
大正 14年		内務省 神戸土木出張所 神戸港工場材料試験場
昭和 9年 6月 1日	内務省 神戸土木出張所 神戸港修築事務所 機械工場	内務省 神戸土木出張所 神戸港修築事務所材料 試験場
昭和18年11月 1日	運輸通信省 第三港湾建設部 神戸機械工場	運輸通信省 第三港湾建設部 神戸材料検査場
昭和20年 5月19日	運輸省 第三港湾建設部 神戸機械工場	
昭和20年10月 1日		運輸省 第三港湾建設部 調査課に配属
昭和24年 6月 1日		運輸省 第三港湾建設部 神戸材料検査場の分離
昭和27年 8月 1日	運輸省 第三港湾建設局 神戸機械工場	運輸省 第三港湾建設局 神戸材料検査場
昭和34年 9月21日		運輸省 第三港湾建設局 神戸調査 設計事務所に改称
昭和35年 6月 1日	運輸省 第三港湾建設局 神戸機械整備事務所に 改称	
平成13年 1月 6日	省庁再編により 国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所に改称 現組織となる	

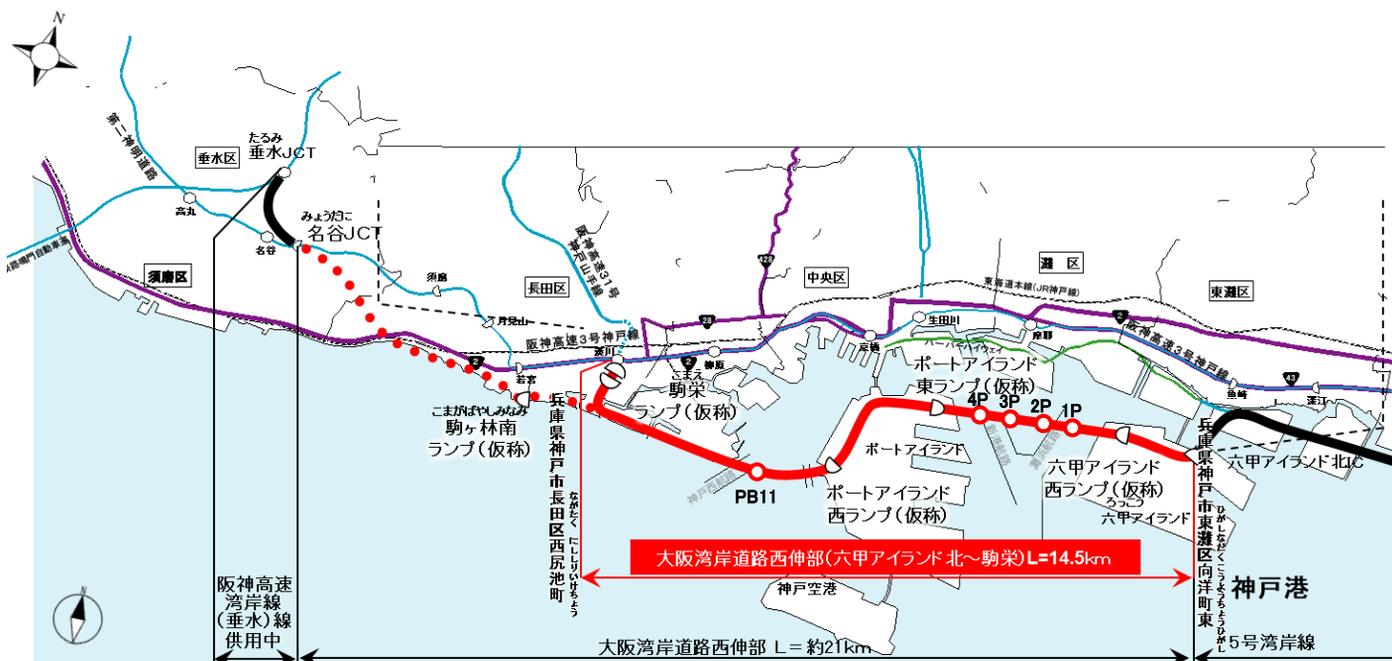
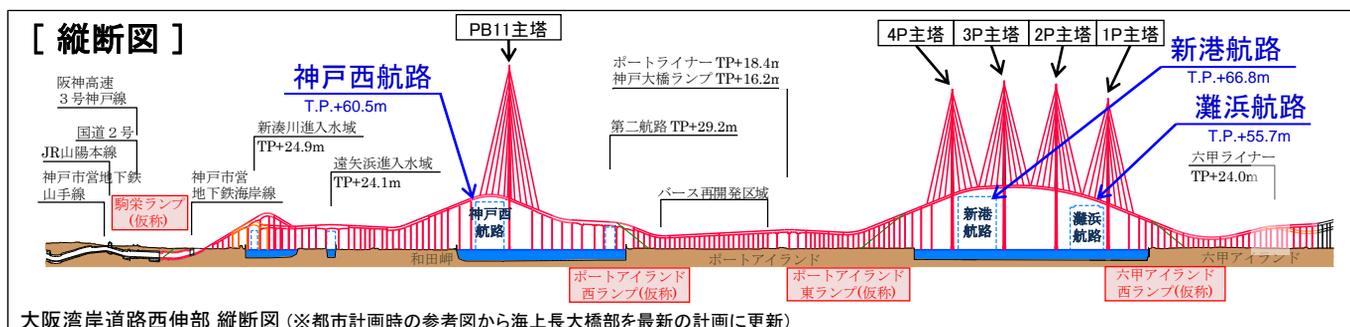
# Ⅱ. 主要業務

## 1. 設計関連

### (1) 大阪湾岸道路西伸部における長大橋の技術検討

#### 大阪湾岸道路西伸部事業への技術的サポート

- 大阪湾岸道路西伸部（六甲アイランド北～駒栄）は、大阪湾岸道路の一部を構成する道路で、兵庫県神戸市東灘区から長田区に至る延長14.5kmの自動車専用道路で、平成29年(2017年)に臨港交通施設としても位置づけられました。大阪湾岸道路西伸部の整備により、国際コンテナ戦略港湾・阪神港や関西国際空港などの物流拠点への移動時間が短縮され、物流効率化が図られます。
- 港湾空港部が整備を担当する海上部の基礎については、これまでに例のない大深度、大規模な基礎となることから、当事務所では、種々の施工課題に対し、課題に精通した有識者による検討会の開催などを通じ、対応方針等を事前に検討していきます。

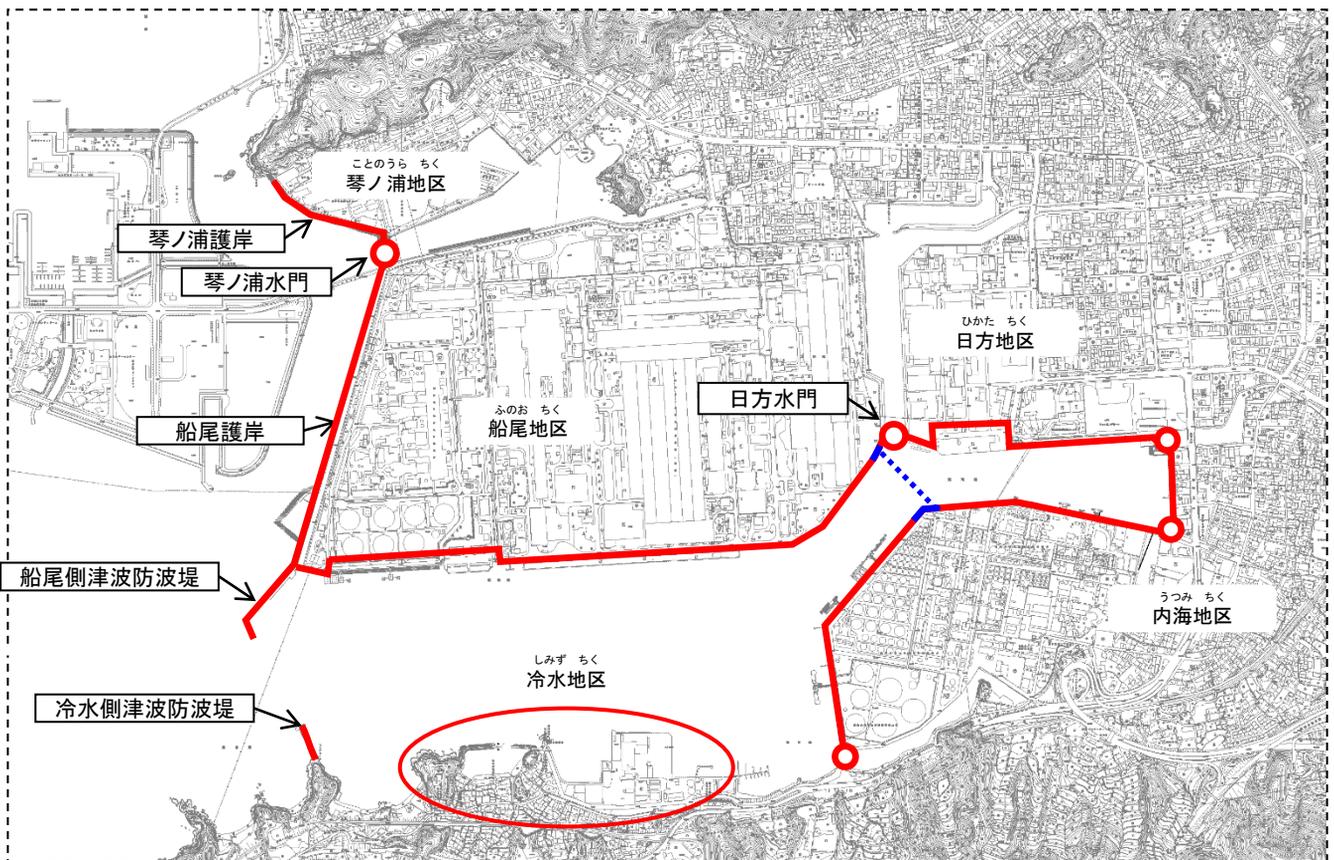


## (2) 海岸保全施設の設計検討

### 津波対策事業の技術的支援

今後30年以内に70～80%の確率で南海トラフで発生する地震に伴う津波の襲来が予測されています。和歌山下津港海岸（海南地区）の背後地域には、行政・防災中枢機能や主要交通施設に加えて、世界的シェアを誇る高付加価値製品の製造企業群が集積しているため、津波来襲時には極めて甚大な被害の発生が危惧されています。

現在、同海岸（海南地区）では、平成21年度（2009年度）から直轄事業により、津波浸水被害の軽減を図るため、海岸保全施設の整備が鋭意進められています。当所においては、令和7年度（2025年度）も引き続き、海岸保全施設の設計を行います。



- 凡例
- 令和7年度設計対象施設 (Blue line)
  - 整備対象施設 (Red line)



### 日方水門取付護岸などの基本設計業務

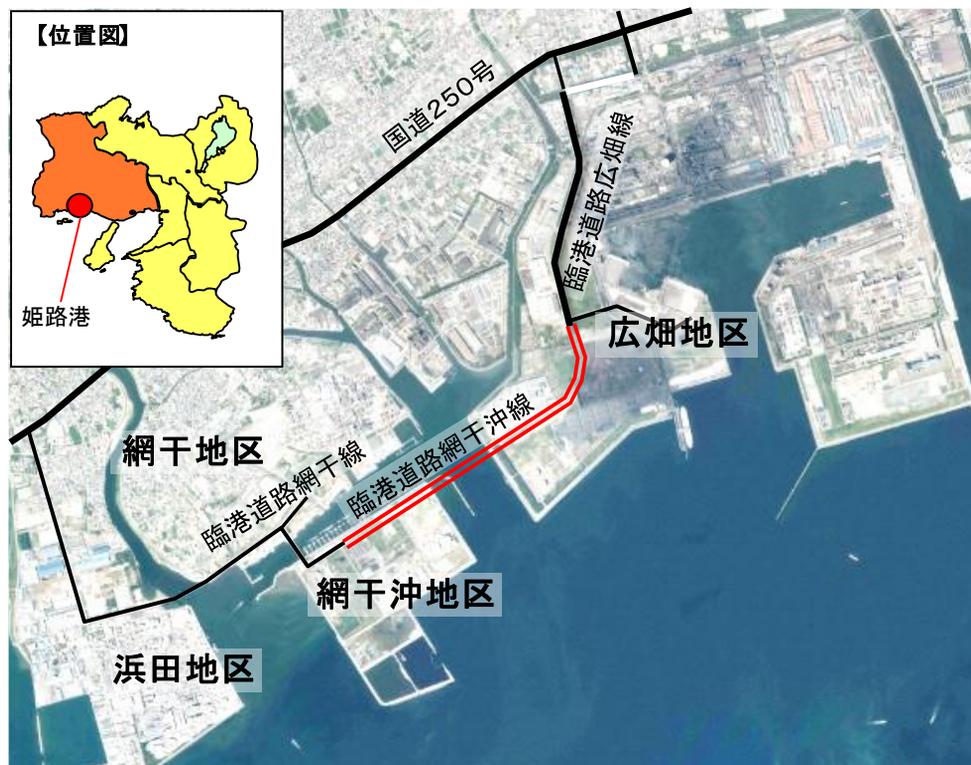


### (3) 港湾施設の設計検討

#### 国際競争力強化に向けた取り組み

国際コンテナ戦略港湾である阪神港（神戸港・大阪港）では、アジア諸国と遜色のないコスト・サービスの実現を目指しハード・ソフト一体となった施策が進められています。令和7年度(2025年度)は、大水深コンテナターミナルの機能強化の一環として進められている、大阪港北港南地区荷さばき地(C12)の液状化対策の基本設計を行います。

また、国際拠点港湾である姫路港では、国際物流ターミナルの整備が進められています。令和6年度(2024年度)には臨港道路網干沖線の詳細設計を実施しました。引き続き、技術的な検討を行います。



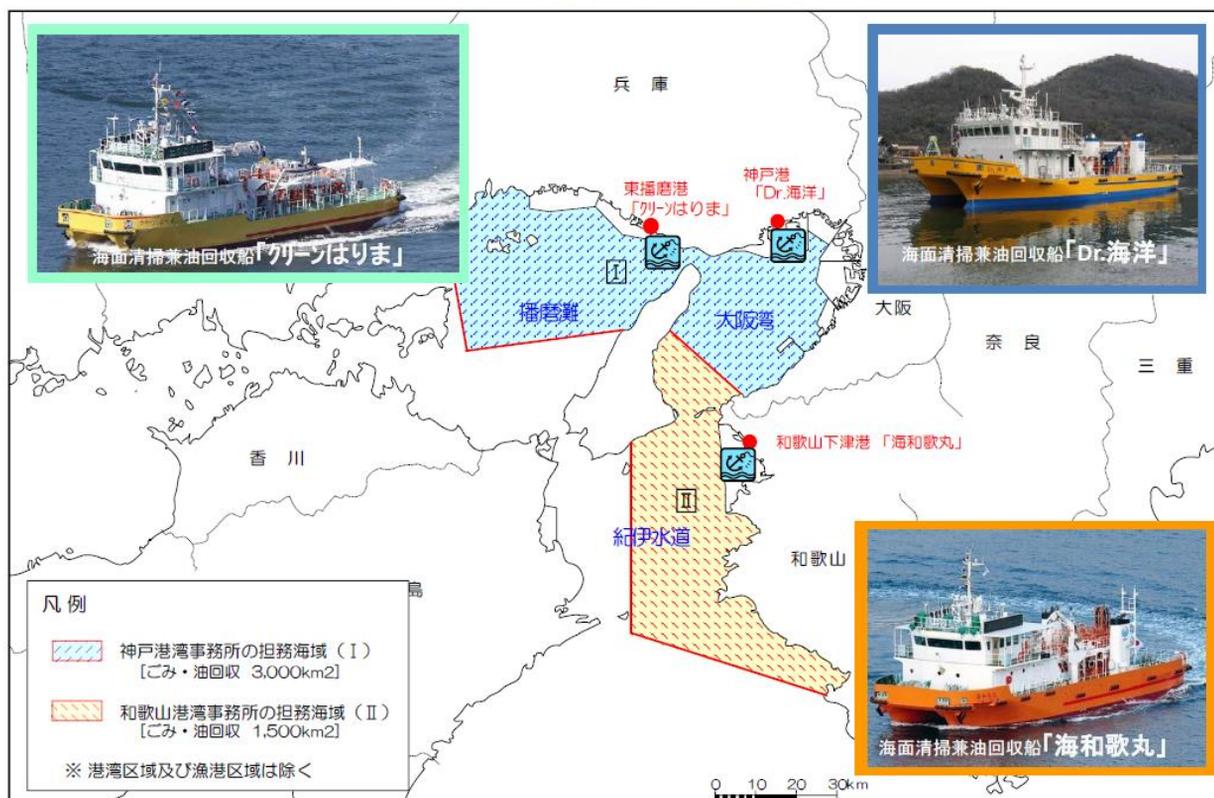
臨港道路網干沖線パース図

## 2. 船舶関連

### (1) 船舶の維持管理

海洋環境整備船等の国有船舶は、事業実施及び災害発生時のゴミ・油回収や救援物資運搬などの出動要請に対して、安全・確実に遂行するため、良好な状態を保持していく必要があります。このため、海洋環境整備船3隻（Dr.海洋、海和歌丸、クリーンはりま）、港湾業務艇4隻（洲浪、はやたま、いずみⅡ、ゆうづる）の定期修理を行います。

### 海洋環境整備事業 担務海域図



### 近畿地方整備局保有の港湾業務艇

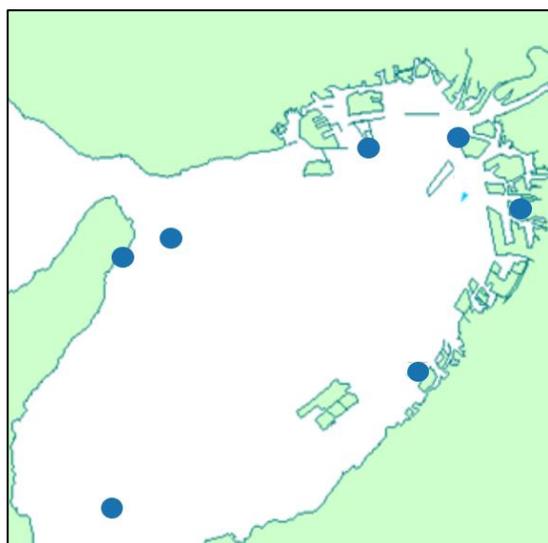
所属港	①神戸港湾	②大阪港湾・空港	③和歌山港湾	④舞鶴港湾
船名	 いずみⅡ	 洲浪	 はやたま	 ゆうづる



### (3) 観測機器を使った海域モニタリング

#### ①大阪湾水質定点自動観測システム

大阪湾水質定点自動観測システムは、大阪湾内のモニタリングポストで水質、流向流速、風向風速を1時間毎に同時観測し、インターネットからリアルタイム配信するもので、平成22年度(2010年度)より運用しています。水質計等のデータ品質を維持するため、装置の保守点検を実施しています。



大阪湾水質定点自動観測の観測位置



阪南沖窪地の観測ブイ

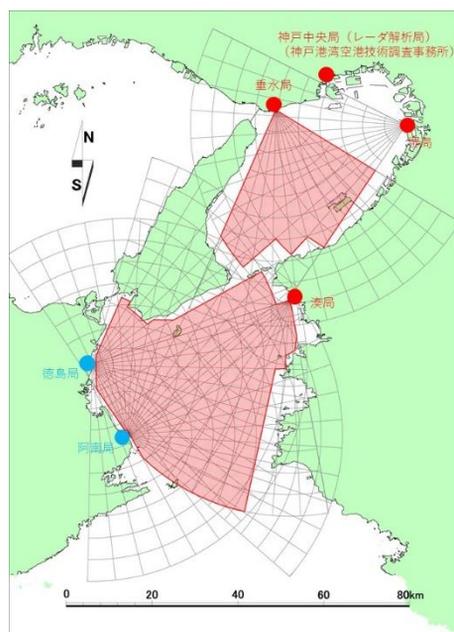
#### ②大阪湾・紀伊水道海洋短波レーダ

海洋レーダを用いた広範囲の海表面の流れ(表層流況)を観測するシステムを平成18年度(2006年度)より運用しています。

兵庫県神戸市垂水区平磯地先、大阪府堺市西区築港新町地先及び和歌山県和歌山市湊地先に設置している海洋レーダのデータ品質を維持するため、装置の保守点検を実施しています。



観測局のレーダアンテナ(堺局)



海洋短波レーダの観測範囲

#### ③海象観測関連

神戸港・柴山港・潮岬に設置している海象計のデータ品質を維持するため、海象観測装置の保守点検を実施しています。

#### (4) 技術開発に関わる検討

##### ・ 3次元デジタル測量のデータ活用法に関する検討

点群データの効率的な解析法、活用法として期待されるテンプレートマッチングによる位置検出技術などを使って、3次元デジタル測量による施設設計を前提とした構造物の現況把握、設計モデル作成、(安定や変形等) 将来の変状予測に関する一連の計測・解析技術の開発、検証、また、一連の結果に基づいて、主に改良設計を前提とした標準的な3次元デジタル測量方法や解析方法を提示することを目的とし、本検討に取り組んでいます。令和7年度(2025年度)も引き続き、検討を行います。

#### 令和6年度の実績結果

##### ■現地データ取得

UAVレーザーおよびマルチビームによる対象施設の3次元デジタル測量を実施し、現地の点群データを取得し、効率化の検証を行った。令和6年度は大阪港新島地区において、現地の点群データ取得を実施および理想条件下である室内での計測を実施した。

①UAVレーザ計測 現地計測状況  
(令和6年11月実施)



②マルチビーム測深 現地計測状況  
(令和6年11月実施)



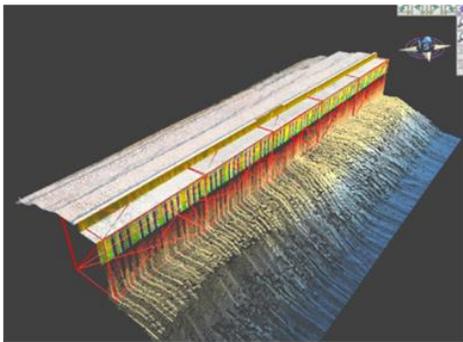
③室内計測  
(令和6年9月実施)



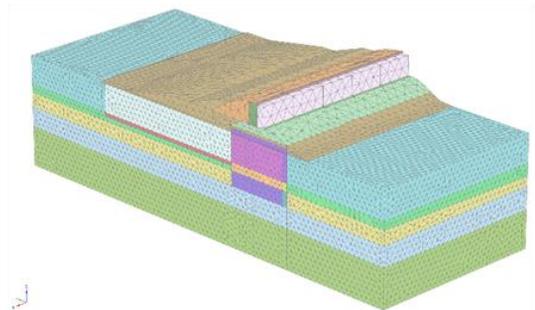
##### ■点群データ解析技術(テンプレートマッチング)の改良・検証、現況把握

点群データの活用法の一つであるTMによる位置検出技術などを使って、3次元デジタル測量による構造物の現況把握、TM解析の改良・検証を行った。

※TM:テンプレートマッチング…簡略化した構造物モデルに現地計測結果を合わせ込むこと



テンプレートマッチング解析結果例



Plaxis(汎用3次元地盤解析ツール)への  
テンプレート・点群データ取り込み例

## 4. その他

### (1) 技術支援

#### ①民間等新技術の活用推進

民間の有用な新技術の利用促進を図るため、新技術情報提供システム（NETIS：全国共有データベース）の技術開発相談窓口を設置し、民間からの新技術にかかる相談・登録申請の受付、NETISの登録を行っています。（詳細は技術開発相談窓口（078-331-0409）まで）

◆ NETIS一般公開 (<https://www.netis.mlit.go.jp/NETIS>)

#### ②港湾における液状化相談窓口

東日本大震災では、臨海部の広い範囲で液状化被害が発生し、大きな問題となりました。近畿地方整備局では、液状化対策に関する技術的支援を行う一環として、液状化相談窓口を開設し、港湾管理者や港湾施設を有する民間企業等に対して港湾施設の液状化に関する相談サービスを提供しています。

◆ 港湾における液状化相談窓口 神戸港湾空港技術調査事務所（078-331-0059）

### (2) 情報発信

#### ①ホームページによる情報提供 (<https://www.pa.kkr.mlit.go.jp/kobegicyo/>)

管内港湾の波浪観測情報の提供や各種技術情報、調査及び技術開発の成果等を公表しています。

#### ②大阪湾環境データベースによる環境情報の提供

(<http://kouwan.pa.kkr.mlit.go.jp/kankyo-db/>)

大阪湾に関する様々な情報（環境、歴史・文化、生物など）や環境調査（水質、底質、底生生物）データを提供するため、データベースを運用しています。

The image shows a screenshot of the website for the Kobe Port and Airport Technical Research Institute. The top navigation bar includes links for '業務所の案内' (Institute Guide), '技術開発・設計' (Technical Development/Design), '防災・減災' (Disaster Prevention/Reduction), '環境' (Environment), '船舶・施工技術' (Ship/Construction Technology), and '入札・契約情報' (Bidding/Contract Information). The main content area is divided into several sections: '技術開発・設計' (Technical Development/Design) featuring a tunnel project, '防災・減災' (Disaster Prevention/Reduction) featuring a gate structure, '環境 大阪湾再生プロジェクト' (Environment Osaka Bay Regeneration Project) featuring a group of people, and '船舶・施工技術' (Ship/Construction Technology) featuring a ship. A red arrow points from the '環境' section to the '大阪湾環境データベース' (Osaka Bay Environment Database) section. The database section includes a search bar, a list of links (e.g., '大阪湾を楽しむ', '大阪湾の紹介'), and a large illustration of the bay with various elements like a bridge, water, and fish. At the bottom, there is a footer with icons and text for 'ナウファス', '大阪湾環境データベース', 'チャート式耐震診断システム', 'NETIS', and '入札・契約情報'.

# 所在地・交通アクセス・お問い合わせ

## 所在地

国土交通省 近畿地方整備局 神戸港湾空港技術調査事務所

〒651-0082 神戸市中央区小野浜町 7番30号（神戸港湾事務所と同じ建物内にあります）  
（JR三ノ宮駅より南東約2km、JR新神戸駅より南東約3.5km）

TEL. (078) 331-0057(代表)

## 交通アクセス

JR三ノ宮駅からの事務所への交通手段

バス：三宮駅ターミナル前（JR三ノ宮駅東口南側）より神戸市バス29系統に乗り、第六突堤で下車。

その後、徒歩約2分（合計所要時間約15分）

※午後からは、三宮駅前より神戸市バス7系統に乗り、市民福祉交流センター前で下車。

その後、徒歩約9分（合計所要時間約14分）

## 当事務所に関するお問い合わせ

メールアドレス：pa.kkr-gicho-common@mlit.go.jp

